

ここでは役場で行っている環境マネジメントシステムの内容や取り組みについて紹介します。

6月24日、平成24年度土幌町環境マネジメントシステム独自目標監査及び平成25年度独自目標設定委員会が開催されました。

○平成24年度監査結果

独自目標			LAS-E規格項目別評価	
番号	内容	達成状況	規格番号（部門）	評価
D101	温室効果がH22比較 1%減	未達成	1-12 (エコアクション)	良好
D102	電気使用量H22比較 1%減	達成		
D103	ノーマイカーデー月2回	達成		
D104	廃棄物排出量H22比較 1%減	達成		
D105	公用車使用燃料H22比較 2%減	達成		
D106	水道使用量H22 2%減	未達成		
D107	LAS-E関係職員研修年 2回以上	達成	1-23 (エコマネジメント)	良好
D108	各課LAS-E取組内容の確認	達成		
D109	環境ニュース年3回以上発行	達成	1-30 (エコガバナンス)	良好

※9項目中7項目が目標達成し、2項目が未達成となりました。
内容詳細は、次ページの所見をご覧ください。

○平成25年度独自目標

・第1ステージ第3ステップ

独自目標		基準年度実績		目標値
D101	温室効果ガスH24比較 1%減	3,196	t-CO2	3,164
D102	電気使用量H24比較 1%減	2,844	Mwh	2,816
D103	ノーマイカーデー月3回	100	%	100
D104	廃棄物排出量H24比較 1%減	16,364	kg	16,200
D105	公用車使用燃料H24比較 1%減	27,671	リットル	27,394
D106	水道使用量H24 4%減	50,667	m^3	48,640
D107	LAS-E関係職員研修年 2回以上	2	回	全体研修1 実行責任者・環境マネージャー研修1
D108	各課LAS-E取組内容の確認	—	回	月1回
D109	環境ニュース年 3回以上発行	3	回	3回以上

・第2ステージ第1ステップ

独自目標		目標値	
D201	個人住宅用太陽光発電導入助成件数 年10件以上	10	件
D202	遊水公園清掃参加人数 1回50人以上	50	人
D203	水辺イベントの開催 年1回以上	1	回
D204	1人1日当たりのゴミ排出量 H17年度比42%減	683	g
D205	地産地消を促す場づくりの事業開催 年1回以上	1	回
D206	土幌町環境マネジメントシステム推進本部会議 年2回以上開催	2	回
D207	環境に関する意見交換 年1回以上	1	回

○平成 24 年度監査の所見

平成 24 年度の独自目標を監査した結果、エコアクション部門、エコマネジメント部門およびエコガバナンス部門、3 部門ともに「良好」と判断しました。

エコアクション部門では、6 項目中 4 項目達成されていました。特に公用車の燃料についてはエコカーの導入によって 13.3 % もの削減ができたことや、その他の項目についても職員の努力で目標を達成できたことは評価できます。

一方で「温室効果ガス H22 比較 1 % 減」と「水道使用量 H22 比較 2 % 減」は、目標を達成できませんでした。電気・ガソリン・LPG は削減できたものの、灯油・A 重油・軽油が増加したことが影響しました。しかし、例年より気温が低かったことや利用者数の増加など、個別の部署、施設ごとに原因の特定はできていました。水道についても、小学校のプールなどにおける漏水が主要な原因であることが判明していました。

以上のことと、未達成の項目数が昨年度の 3 つから 2 つに減ったことを合わせて考慮した結果、エコアクション部門の評価は「良好」とすることが適当を考えました。

しかし、プールの漏水や水道管等の老朽化は日常の管理をしっかり実施し改修の優先順位を定めていれば未然防止できたものと思われます。またカーテンによる間仕切りで暖房効果が向上した施設もあり、ちょっとした気配りや工夫が大きな実績値の差となって現れることもありますので、各職場でのより一層の工夫と注意喚起を希望します。

エコマネジメント部門では、LAS-E 関係職員研修と各課の取り組み内容確認が、いずれも計画通り実行されていました。職員研修は循環型社会について学習しており、引き続き職員の知識向上に繋げようとする取り組みは評価することができます。

エコガバナンス部門では、環境ニュースとして役場だよりの中で LAS-E に関する情報を町民に提供しています。今後は、共通実施項目監査などで高く評価された各職場の取り組みなど、努力や独自の工夫の結果を一層積極的に発信することで、町民の関心を高めていくことを期待します。

平成 17 年に LAS-E を導入して以降、徐々に取り組みが定着してきましたが、今年度は第 2 ステージの合格を目指すことで、いよいよエコオフィスから地域全体の環境政策に拡大していく時期にきました。役場や出先機関の施設内でなく、地域全体に環境の取り組みが拡大していくことを期待いたします。

今年度より第 2 ステージ第 1 ステップに全面的に取り組む内容で運用しています。第 2 ステージでは、地域全体を対象とするものとなり、町の環境政策を推し進めるため、公共施設を利用される住民の皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。



※環境マネジメントシステムの手引きを士幌町の公式ホームページに掲載しました。

(<http://www.shihoro.jp/env/guide/> 「士幌町環境マネジメントシステム」のページに掲載します。)